

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 三井情報株式会社

コード番号 2665 URL <http://www.mki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 齋藤 正記

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CFO (氏名) 佐野 秋生

TEL 03-6376-1008

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第2四半期 | 22,365 | △1.0 | 545 | △28.0 | 620 | △25.1 | 352 | △21.8 |
| 24年3月期第2四半期 | 22,590 | 3.8 | 757 | 410.7 | 828 | 298.2 | 451 | — |

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 351百万円 (△22.9%) 24年3月期第2四半期 455百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第2四半期 | 297.98 | — |
| 24年3月期第2四半期 | 381.20 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|---|--------|---|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第2四半期 | 39,541 | — | 31,414 | — | — | 79.4 |
| 24年3月期 | 41,664 | — | 31,418 | — | — | 75.4 |

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 31,414百万円 24年3月期 31,418百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 24年3月期 | — | 200.00 | — | 300.00 | 500.00 |
| 25年3月期 | — | 200.00 | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | — | — | 300.00 | 500.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 53,000 | 2.8 | 2,700 | 7.7 | 2,800 | 4.6 | 1,700 | 18.6 | 1,436.50 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年3月期2Q | 1,183,431 株 | 24年3月期 | 1,183,431 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期2Q | — 株 | 24年3月期 | — 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年3月期2Q | 1,183,431 株 | 24年3月期2Q | 1,183,431 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

また、当社は平成24年11月5日(月)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかにTDnetに開示し、当社ホームページにも掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 4 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |
| (6) セグメント情報等 | 10 |
| 5. 補足情報 | 12 |
| 生産、受注及び販売の状況 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、世界景気の減速等を背景として回復の動きに足跡が見られるなか、欧州の政府債務危機を巡る不確実性やデフレに対する懸念も加わり、不安定な状況が継続しました。

当社グループが属するITサービス業界においては、震災などにより抑制されてきた企業によるIT投資は回復が見込まれているものの、先行き不透明感の影響を受けて全体的に慎重な姿勢が継続しました。

このような環境のもと、中期経営計画（平成23年3月期～平成25年3月期）の3年目を迎えた当社グループは、重点方針である「既存事業の強化徹底による全社成長の実現」「新規サービスモデルの早期収益化・継続拡大」「成長を支える業務基盤の強化」の実現に向けて積極的に取り組んできました。

ビジネスソリューション事業においては、ERPソリューションにおける事業パートナーとの協業推進などにより、新規顧客の開拓に積極的に取り組みました。

プラットフォームソリューション事業においては、市場開拓戦略に基づいて国内外の通信キャリアをはじめとする大口顧客との関係強化を図りました。また、ワークスタイルの多様化に伴い需要拡大が見込まれるユニファイドコミュニケーション（※1）の分野においては、大手ベンダーとの関係強化によるビジネス拡大に努めました。

サービス事業においては、既存のエネルギーマネジメント（※2）ソリューションに加え、新たな省エネルギー関連ソリューションの開発に着手し、事業領域の拡大に努めました。

（損益の状況及びセグメント情報）

当第2四半期連結累計期間においては、大口顧客向けのシステム構築案件の減少などにより売上高は223億65百万円（前年同期比1.0%減）となりました。利益面においては、営業利益は5億45百万円（同28.0%減）、経常利益は6億20百万円（同25.1%減）、四半期純利益は3億52百万円（同21.8%減）となりました。

セグメント別売上高の内訳と概況は以下のとおりです。

| 区分 | 前第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日） | | 当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日） | | 前年同期 増減率 （%） |
|-----------------------|---|--------|---|--------|--------------------|
| | 金額（百万円） | 構成比（%） | 金額（百万円） | 構成比（%） | |
| ビジネス ソリューション事業 | 9,046 | 40.1 | 8,432 | 37.7 | △6.8 |
| プラットフォーム ソリューション事業 | 11,620 | 51.4 | 11,930 | 53.3 | 2.7 |
| サービス事業 | 1,923 | 8.5 | 2,002 | 9.0 | 4.1 |
| 合計 | 22,590 | 100.0 | 22,365 | 100.0 | △1.0 |

ビジネスソリューション事業

新規顧客向けの大型ERP案件などの売上貢献があったものの、主要顧客である三井物産向けの売上減少などにより、売上高は84億32百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

プラットフォームソリューション事業

データネットワーク分野においては、通信キャリア向けのネットワーク構築案件が伸び悩みましたが、音声ネットワーク分野におけるコンタクトセンター構築案件の増加等により業績は順調に推移しました。その結果、売上高は119億30百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

サービス事業

データセンターサービスにおいては、運用アウトソースサービスの増加などにより売上を伸ばすことが出来ました。クラウド関連サービスにおいては、サーバ仮想化分野で売上の減少があったものの、エネルギーマネジメントソリューションやMDM (Mobile Device Management) (※3) などが堅調に推移しました。その結果、売上高は20億2百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

(※1) ユニファイド・コミュニケーションとは、あらゆるコミュニケーション手段、通信機器、メディアが統合され、場所を問わず誰とでもコミュニケーションを図ることができるプロセスを意味します。ユニファイド・コミュニケーションの目的は、様々なプロセスを簡略化することで業務を最適化し、従業員同士のコミュニケーションを促進するものです。

(※2) エネルギーマネジメントとは、建物内で利用する電気やガスといったエネルギー使用量を測定・分析し、機器、設備等の運転管理を調節することでエネルギー消費の効率化やパフォーマンスの向上につなげていこうとする管理手法です。

(※3) MDM (Mobile Device Management) とは、スマートフォンなどをビジネスの場で安全に使用するためのソリューションで、アプリケーションの制御やデータのバックアップ、紛失時の遠隔ロックやデータ消去といった機能が含まれます。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は395億41百万円となり、前連結会計年度末に比べて21億23百万円の減少となりました。

流動資産につきましては、仕掛品13億59百万円の増加、預け金17億円の増加等がありましたが、現金及び預金12億41百万円の減少、受取手形及び売掛金31億51百万円の減少、有価証券10億円の減少等により、前連結会計年度末に比べて19億41百万円の減少となりました。

固定資産につきましては、投資その他の資産27百万円の増加がありましたが、有形固定資産2億4百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べて1億81百万円の減少となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は81億26百万円となり、前連結会計年度末に比べて21億19百万円の減少となりました。

流動負債につきましては、前受金6億80百万円の増加等がありましたが、支払手形及び買掛金10億80百万円の減少、未払法人税等8億47百万円の減少、賞与引当金6億27百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べて21億18百万円の減少となりました。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べて大きな変動はありませんでした。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は314億14百万円となり、前連結会計年度末に比べて4百万円の減少となりました。

株主資本につきましては、四半期純利益の計上による利益剰余金3億52百万円の増加がありましたが、配当による利益剰余金3億55百万円の減少により、前連結会計年度末に比べて2百万円の減少となりました。

その他の包括利益累計額につきましては、前連結会計年度末に比べて1百万円の減少となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は50億31百万円となり、前連結会計年度末に比べて30億41百万円の減少となりました。前年同期との比較は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億94百万円の収入(前年同期比77.5%減)となりました。これは、引当金の減少額6億32百万円、たな卸資産の増加額14億79百万円、仕入債務の減少額11億15百万円、法人税等の支払額9億48百万円等があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上6億20百万円、減価償却費の計上5億57百万円、売上債権の減少額31億50百万円等があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、28億72百万円の支出(同63.4%増)となりました。これは、預け金の預け入れによる支出25億円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億55百万円の支出(同0.1%減)となりました。これは、配当金の支払額3億55百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は当初予想を上回る結果となりましたが、下期は厳しい事業環境となることが予想されるため、現時点におきまして平成24年5月7日に公表しました通期業績予想の変更はありません。なお、今後の様々な要因によって実際の業績が予想値と異なる可能性があります、その場合は速やかに公表します。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微です。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,273 | 3,031 |
| 受取手形及び売掛金 | 9,843 | 6,691 |
| 有価証券 | 2,000 | 1,000 |
| 商品及び製品 | 358 | 477 |
| 仕掛品 | 1,048 | 2,408 |
| 前払費用 | 1,236 | 1,628 |
| 預け金 | 13,800 | 15,500 |
| その他 | 1,000 | 881 |
| 流動資産合計 | 33,560 | 31,619 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,271 | 2,141 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,376 | 1,330 |
| 土地 | 1,550 | 1,550 |
| その他(純額) | 29 | 0 |
| 有形固定資産合計 | 5,226 | 5,021 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 13 | 6 |
| その他 | 920 | 923 |
| 無形固定資産合計 | 934 | 930 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 1,099 | 1,090 |
| その他 | 858 | 897 |
| 貸倒引当金 | △16 | △18 |
| 投資その他の資産合計 | 1,942 | 1,969 |
| 固定資産合計 | 8,103 | 7,922 |
| 資産合計 | 41,664 | 39,541 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,354 | 2,274 |
| 未払法人税等 | 998 | 151 |
| 前受金 | 2,434 | 3,115 |
| 賞与引当金 | 1,779 | 1,152 |
| 役員賞与引当金 | 29 | 14 |
| 受注損失引当金 | 12 | 19 |
| その他 | 1,368 | 1,131 |
| 流動負債合計 | 9,978 | 7,859 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 82 | 83 |
| 負ののれん | 119 | 114 |
| その他 | 65 | 68 |
| 固定負債合計 | 267 | 267 |
| 負債合計 | 10,245 | 8,126 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,113 | 4,113 |
| 資本剰余金 | 14,470 | 14,470 |
| 利益剰余金 | 12,806 | 12,803 |
| 株主資本合計 | 31,390 | 31,388 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 37 | 55 |
| 繰延ヘッジ損益 | 9 | △4 |
| 為替換算調整勘定 | △19 | △25 |
| その他の包括利益累計額合計 | 27 | 26 |
| 純資産合計 | 31,418 | 31,414 |
| 負債純資産合計 | 41,664 | 39,541 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 22,590 | 22,365 |
| 売上原価 | 16,342 | 16,226 |
| 売上総利益 | 6,248 | 6,138 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,490 | 5,593 |
| 営業利益 | 757 | 545 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 21 | 24 |
| 受取配当金 | 6 | 6 |
| 持分法による投資利益 | 2 | 4 |
| 受取保険金 | 19 | — |
| その他 | 30 | 42 |
| 営業外収益合計 | 80 | 77 |
| 営業外費用 | | |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 1 |
| 為替差損 | 8 | — |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 9 | 1 |
| 経常利益 | 828 | 620 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 0 | — |
| 特別利益合計 | 0 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 4 | — |
| 特別損失合計 | 4 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 824 | 620 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 288 | 110 |
| 法人税等調整額 | 84 | 157 |
| 法人税等合計 | 373 | 268 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 451 | 352 |
| 四半期純利益 | 451 | 352 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 451 | 352 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11 | 18 |
| 繰延ヘッジ損益 | △2 | △13 |
| 為替換算調整勘定 | △4 | △6 |
| その他の包括利益合計 | 4 | △1 |
| 四半期包括利益 | 455 | 351 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 455 | 351 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 824 | 620 |
| 減価償却費 | 571 | 557 |
| のれん償却額 | 21 | 6 |
| 負ののれん償却額 | △4 | △4 |
| 引当金の増減額 (△は減少) | △84 | △632 |
| 受取利息及び受取配当金 | △27 | △30 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △2 | △4 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 2,090 | 3,150 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △528 | △1,479 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △1,218 | △1,115 |
| その他 | △134 | 42 |
| 小計 | 1,507 | 1,109 |
| 利息及び配当金の受取額 | 30 | 32 |
| 法人税等の支払額 | △675 | △948 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 863 | 194 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 預け金の預け入れによる支出 | △1,500 | △2,500 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △205 | △205 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △108 | △166 |
| その他 | 55 | △0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,758 | △2,872 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △355 | △355 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △355 | △355 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △6 | △8 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △1,257 | △3,041 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,757 | 8,073 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,500 | 5,031 |

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) (百万円) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) |
|-------------------|--------------------------------|--|-----------------|------------|---------------------|--------------------------------|
| | ビジネスソリ ューション事 業 (百万円) | プラットフ ォームソリ ューション 事業 (百万円) | サービス事業 (百万円) | 計 (百万円) | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,046 | 11,620 | 1,923 | 22,590 | — | 22,590 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 182 | 18 | 7 | 208 | △208 | — |
| 計 | 9,229 | 11,638 | 1,930 | 22,798 | △208 | 22,590 |
| セグメント利益又は損失(△) | 616 | 216 | △301 | 530 | 227 | 757 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりです。

| | 調整額(百万円) |
|-----------------|----------|
| セグメント間取引消去等(※1) | 78 |
| 全社費用配賦差額(※2) | 153 |
| 棚卸資産の調整額 | △5 |
| 固定資産の調整額 | 1 |
| 合計 | 227 |

(※1) セグメント間取引消去等の主な内容は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない本社管理部門の営業外収益との消去によるものです。

(※2) 全社費用については社内基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) (百万円) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) |
|-------------------|--------------------------------|--|-----------------|------------|---------------------|--------------------------------|
| | ビジネスソリ ューション事 業 (百万円) | プラットフ ォームソリ ューション 事業 (百万円) | サービス事業 (百万円) | 計 (百万円) | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,432 | 11,930 | 2,002 | 22,365 | — | 22,365 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 145 | 22 | 6 | 174 | △174 | — |
| 計 | 8,577 | 11,952 | 2,009 | 22,539 | △174 | 22,365 |
| セグメント利益又は損失(△) | 332 | 361 | △231 | 462 | 82 | 545 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりです。

| | 調整額(百万円) |
|-----------------|----------|
| セグメント間取引消去等(※1) | 92 |
| 全社費用配賦差額(※2) | △3 |
| 棚卸資産の調整額 | △6 |
| 固定資産の調整額 | 0 |
| 合計 | 82 |

(※1) セグメント間取引消去等の主な内容は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない本社管理部門の営業外収益との消去によるものです。

(※2) 全社費用については社内基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響額は軽微です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

| セグメントの名称 | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 前年同期比 (%) |
|-------------------------|---|-----------|
| ビジネスソリューション事業 (百万円) | 4,103 | 106.5 |
| プラットフォームソリューション事業 (百万円) | 3,475 | 98.5 |
| サービス事業 (百万円) | 27 | 115.2 |
| 合計 | 7,605 | 102.7 |

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 上記の金額は、セグメント間取引の相殺後の数値です。

② 受注及び受注残高状況

当第2四半期連結累計期間の受注及び受注残高状況をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

| セグメントの名称 | 受注高 (百万円) | 前年同期比 (%) | 受注残高 (百万円) | 前年同期比 (%) |
|-------------------|--------------|--------------|---------------|--------------|
| ビジネスソリューション事業 | 6,279 | 55.0 | 5,972 | 58.7 |
| プラットフォームソリューション事業 | 12,100 | 94.6 | 11,608 | 109.8 |
| サービス事業 | 2,166 | 94.9 | 2,171 | 102.9 |
| 合計 | 20,546 | 77.6 | 19,752 | 86.4 |

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 上記の金額は、セグメント間取引の相殺後の数値です。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

| セグメントの名称 | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 前年同期比 (%) |
|-------------------------|---|-----------|
| ビジネスソリューション事業 (百万円) | 8,432 | 93.2 |
| プラットフォームソリューション事業 (百万円) | 11,930 | 102.7 |
| サービス事業 (百万円) | 2,002 | 104.1 |
| 合計 | 22,365 | 99.0 |

- (注) 1. 前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりです。

| 相手先 | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | |
|----------|---|--------|---|--------|
| | 金額 (百万円) | 割合 (%) | 金額 (百万円) | 割合 (%) |
| 三井物産株式会社 | 4,894 | 21.7 | 4,194 | 18.8 |

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 上記の金額は、セグメント間取引の相殺後の数値です。